

# われらは南小学生



波佐見町立南小学校  
学校だより No.10  
令和4年12月23日(金)  
文責：校長 藤井大作

## 地域の皆様のお力を借りて 豊かな教育活動を実施できました！

2学期も地域の皆様に支えられて、本校の教育活動が行われました。どの方も気持ちよく御協力くださいました。生の体験をさせていただくことができ、心からお礼申し上げます。

学校日誌やホームページを振り返ってみても、様々な職種、ボランティアの方との出会いがあり、ありがたかったです。詳細な数は控えますが、100枚作っていた私の名刺が残り数枚となるくらいの皆様にお世話になりました。

一つ一つの詳しい内容は、ホームページを御覧いただくとして、私から見て、波佐見町らしいなあ、南小学校らしいなあと思うものを御紹介します。

(わくわくワークDAYは先月話題にしたので省きます。)



9月16日

ミシンを使っての裁縫の学習に婦人会など地域の皆様にお世話になりました。



9月27日

町の学芸員の御指導で歴史文化交流館において波佐見町の歴史を学びました。



11月18日

中尾郷へ遠足。世界最大の登り窯などをガイドの方の案内で見学しました。



11月30日

薬剤師の村岡様、ライオンズクラブの脇坂様から薬物の危険性を学びました



12月5日

長崎キヤノン様による環境学習。リサイクルの方法などを学びました。



12月8日

原味噌本店様の御指導のもと、自分たちで栽培した大豆で味噌を作りました。

## 「人のいやがることを言わない」 繰り返し指導しています！

南小学校では、折に触れ、「心のアンケート」を実施し、結果をもとに個人面談を行い、小さな事案でも早期に対応するようにしています。260名という集団がともに生活をする中で、いじめは起こりうるという意識で本校では指導をしています。「いじめの未解決ゼロ」を共通の目標として臨んでいるところです。

さて、これまでの「心のアンケート」の結果の中で、「学校は楽しい」という子供がほとんどで安心しているところですが、それでも100%とはいきません。そのほとんどの理由は「友達に嫌なことを言われる」が原因です。

事例をあげると、

- ・ 嫌な言い方（あだ名）で名前を呼ばれた。
- ・ 「どけ」「はやく行け」と言われた。
- ・ 「バカ」「死ね」と（中指を立て）言われた。
- ・ 「ウザか」「ザコ」と言われた。



御家庭の中で耳にすることはありませんか？ もし、聞こえてきたら、どのように子供に話していますか？ メディアの影響もあるかもしれませんが、見逃しているのなら、また、大人が使っているのなら子供だけに責任は負えません。「子供が言うことやけん、それぐらい」という考え方は、ショックを受けた子供の思いに立つと、とても許されるものではないと学校は考えています。

また、思ったことや目にしたことをそのまま口にする子も気になります。言われた相手の気持ちを考えて発するよう指導していきます。

今月は「人権週間」の取組もありましたが、口は「友達をほめたり励ましたりするために使う。」ことをこれからも繰り返し語りかけていきます。

### ホームページの御案内

ホームページ内「学校生活」を開くと、日々の子供たちの様子を御覧いただけます。また、主要なおたよりも「お知らせ」コーナーに掲載しています。右のQRコードからお入りください。



### 波佐見町教育相談電話の御案内 ☎ 0956-85-3899

波佐見町では、いじめや不登校などの相談に対応する専用電話が設置されています。何かお困りの時、だれにも相談できないという時などに御活用ください。

また、町にはスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーもいらっしゃいます。保護者の皆様の子育てに関するお悩みも御相談いただけますので、ぜひ御活用ください。連絡先は、町教育委員会（85-2034）、または学校（85-2414）です。